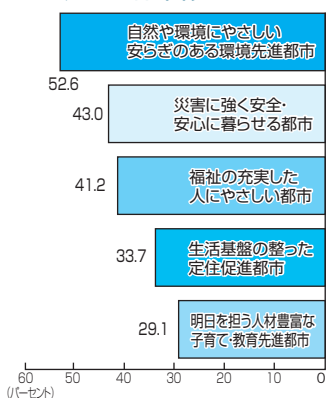


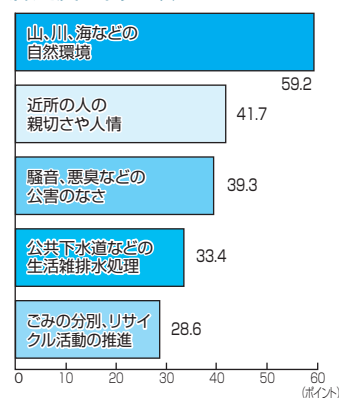
みなさんのまちづくりへの思いを 計画づくりに反映します



めざすべき都市像 [グラフ2]



満足度の高い項目 [グラフ1]



アンケート結果によると、合併によって自然環境に恵まれた多くの地域が新たに増えたこともあり、「山、川、海などの自然環境」に対する市民の満足度は高く（グラフ1参照）、その自然環境を誇

市民のみならず、本市の現状をどのように感じ、今後のまちづくりに何を望んでいるかなどについて、本年1月、市民4000人を対象にアンケート調査を実施しました。この結果は、本市の将来を考えるための貴重な資料となるとともに、計画づくりのさまざまな場面で、施策を検討していく参考資料として活用しています。

自然や環境にやさしい 環境先進都市をめざして

りに思い、「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」を望む声が多く寄せられています（グラフ2参照）。



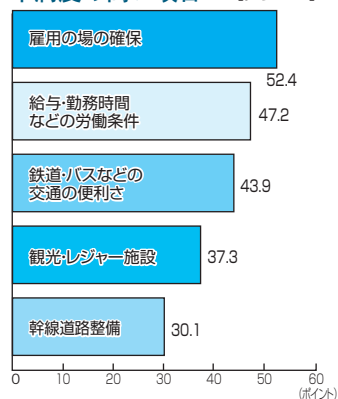
計画づくりでは、「環境先進都市の実現」を重要なテーマとして位置付けたいと考えています。具体的には、地域の特性を活かした新エネルギーの導入の促進／鳥取大学、鳥取環境大学、研究機関との連携による新たな環境ビジネスの創出／鳥取砂丘、湖山池、温泉などの自然環境を活かした滞在型観光の推進など、幅広い施策を検討しています。

姫路鳥取線を活用した 新たなまちづくり

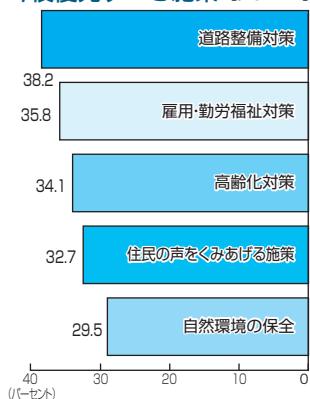
アンケート結果では、「雇用の場の確保」や「交通の利便さ」に対する不満の声が多く（グラフ3

参照）、このような不満を解消するため、道路網の整備に大きな期待が寄せられています（グラフ4参照）。

不満度の高い項目 [グラフ3]



今後優先すべき施策 [グラフ4]



総合計画の計画期間内には、県東部地域住民の長年の悲願である高速道路姫鳥線の開通が見込まれるとともに、山陰自動車道（鳥取―青谷間）や鳥取豊岡宮津自動車道（駒馳山バイパスなど）の事業進展によって高速道路網の整備が進んでいきます。計画づくりでは、姫鳥線開通を

見据えた観光戦略の展開／地元企業、大学などの連携による新産業の創出／企業誘致などの促進による雇用の拡大／鳥取港、鳥取空港の利活用とあわせた物流機能の強化／都市間の交流、都市と農村との交流など、地域活性化の起爆剤となる姫鳥線を活用した戦略的なまちづくりを検討しています。

地域間の情報の格差をなくし 一体感を

地域間で格差のない情報が得られる基盤として、CATV網の整備に、大きな期待が寄せられています。

計画づくりでは、CATV網を活用したさまざまな行政サービスの展開を検討しています。具体的には、身近なイベント行事などの情報のリアルタイムな提供／高速インターネットの利用や双方向通信の実現／CATV網を活用した地域からの情報発信の促進／防犯情報ネットワークの整備／電子申請システム、在宅健康管理支援サービス、公共施設予約システムなど、市民の利便性向上を図る各種システムの導入検討など、幅広い活用策を検討し、共通した情報を市全域に提供することにより、新市の一体感を強めていきます。